

「リスク・フリー・レートに関する勉強会」第11回議事要旨

(平成28年5月27日(金) 16時30分～17時30分、日本銀行本店会議室)

- 第10回議事要旨が承認され、日本銀行ホームページ上で公表することが承認された。
- 冒頭、議長退任に伴い新議長の選出を行った。
- 事務局から、リスク・フリー・レートに関する国際的な議論の動向についてアップデートが行われた。
- 事務局から、3月31日に公表し、4月28日を期限として意見募集を行った市中協議の結果が報告された。市中協議においては、勉強会による整理に賛同する意見が書面により寄せられたほか、市場参加者向けに行ったアウトリーチ会合においても大きな異論は示されなかった。ただし、一部の市場参加者からは、①マイナス金利導入から数か月しか経過していないことから、国内の短期金融市場の動向を見極める追加的な時間が必要であるとの意見や、②リスク・フリー・レートの導入によって、デリバティブ市場の流動性がIBORsとリスク・フリー・レートに分断する可能性があるとの意見が示された。
- 議長から、市中協議文書に対して寄せられた意見、および、他通貨におけるリスク・フリー・レートの検討状況を踏まえ、①本勉強会におけるリスク・フリー・レートの特定時期を本年中とすること、②今後は、他通貨におけるリスク・フリー・レートとの整合性の重要度の検討や、リスク・フリー・レートとして利用可能なレポ指標の予備的な検討を行うこと等が提案された。レポ指標の構築に関する検討の在り方や今後のスケジュール等について議論を行った後、上記の方向性が了承された。
- また、議長から、市中協議の結果等を踏まえた本勉強会の今後の検討予定を記載した文書を対外公表することが提案され、異論なく了承された。対外公表文書は、6月末を目途に日本銀行ホームページ上に公表することとされた。
- 最後に、議長から、モルガン・スタンレーMUFJ証券から本勉強会に参加したいとの要望があったことが紹介され、次回会合以降、同社を勉強会メンバーとして迎えることが提案され、異論なく了承された。

以上

「リスク・フリー・レートに関する勉強会」第 11 回会合 参加者

(メンバー)

副 議 長	野 村 證 券	橋 本 茂
	S M B C 日 興 証 券	尾 島 一 博
	S M B C 日 興 証 券	中 尾 司
	ゴールドマン・サックス証券	田 口 研 吾
	大 和 証 券	帯 刀 和 直
	大 和 証 券	菊 池 拓 也
	ド イ ツ 銀 行	小 林 啓
	ド イ ツ 銀 行	永 田 育 真
	野 村 證 券	櫻 井 祥 文
	バ ー ク レ イ ズ 証 券	村 山 大 介
	バ ー ク レ イ ズ 証 券	森 原 恒 輔
	み ず ほ 銀 行	笠 松 義 人
	み ず ほ 銀 行	久 保 秀 樹
	み ず ほ 証 券	葛 西 弘 道
	三 井 住 友 銀 行	井 原 直 樹
	三 井 住 友 銀 行	桂 田 大 成
	三 井 住 友 銀 行	嶋 忠 明
	三 菱 東 京 U F J 銀 行	根 木 信 和
	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	関 岳 洋
	ユービーエス・エイ・ジー	井 川 雄 亮
	ユービーエス・エイ・ジー	井 上 裕 嗣
	I S D A	有 馬 康 修
	I S D A	北 野 秀 雄
	I S D A	森 田 智 子
	全 国 銀 行 協 会	小 山 寛 隆
	全 国 銀 行 協 会	長 谷 川 哲 也

日本証券業協会
日本証券業協会

武田 創
丸野 雅人

(オブザーバー)

金	融	庁	林	朋 晃	
金	融	庁	鳩 間	正 也	
金	融	庁	上大谷	起 一	
日	本	銀	行	藤 田	研 二
日	本	銀	行	東	善 明
日	本	銀	行	清 水	茂

(敬称略)

以 上